

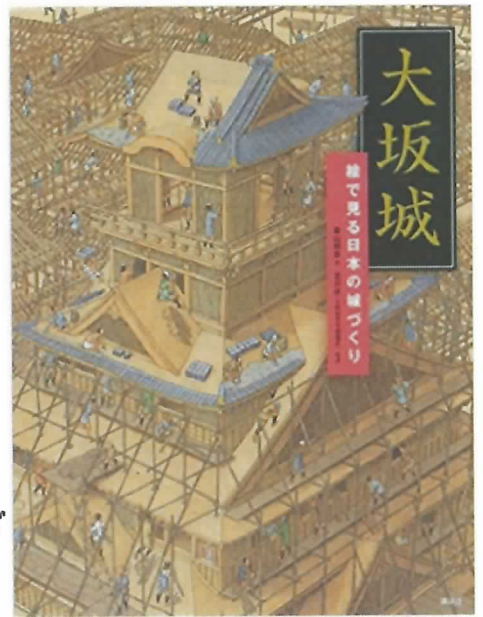
# よんでネット\* 秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館/協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

## 「大坂城 絵で見る日本の城づくり」

青山邦彦 作 北川 央(大坂城天守閣館長) 監修

ダイスケ、ケンタ、サオリ 3人の<sup>にんじゃ</sup>忍者が<sup>おおさか じょう</sup>大坂城の  
<sup>しろ</sup>城づくりを<sup>さぐる</sup>さぐることに<sup>な</sup>た。堀を<sup>ほる</sup>ほる。石垣の  
<sup>いし</sup>石を<sup>つ</sup>運ぶ。天守閣に<sup>かわら</sup>かわらを<sup>つ</sup>積みあげる。  
 ぜんぶ人の<sup>か</sup>かだけで<sup>つ</sup>作りあげて<sup>い</sup>く。どの<sup>ぺ</sup>ページにも  
 3人が<sup>い</sup>いるから<sup>さ</sup>さがして<sup>ご</sup>らん。城づくりの<sup>ひ</sup>ひみつが  
 見えて<sup>く</sup>くるよ。おどろきの<sup>く</sup>工夫が<sup>い</sup>っぱいだ。  
<sup>とよ</sup>豊臣<sup>ひ</sup>秀吉<sup>よし</sup>も<sup>い</sup>いるから<sup>み</sup>つけて<sup>ね</sup>ね。



講談社[E・絵本のコーナー]

\*\*\*\*\*

## 「ライフタイム いきものたちの一生と数字」

ローラ・M・シェーファーぶん クリストファー・サイラス・ニール え 福岡伸一やく



この本に出てくるのは、いきもの<sup>の</sup>の一生を<sup>しら</sup>調べて  
 わかった<sup>さ</sup>さまざまな<sup>数字</sup>“数字”です。一生の<sup>あ</sup>あいだに  
 トナカイの<sup>つ</sup>角は10回はえか<sup>あ</sup>わります。カンガルーは  
 50<sup>ひ</sup>ひきの<sup>あ</sup>赤ちゃんを<sup>ま</sup>生ま、キリンの<sup>あ</sup>アミ目の<sup>も</sup>もようは  
 200こ<sup>で</sup>できます。オスの<sup>た</sup>タツノオトシゴが<sup>あ</sup>あなかの<sup>ち</sup>中で  
 育てる<sup>あ</sup>赤んぼうの<sup>数</sup>数は? さあ、ページを<sup>め</sup>めくってみて!

ポプラ社 [E・絵本のコーナー]

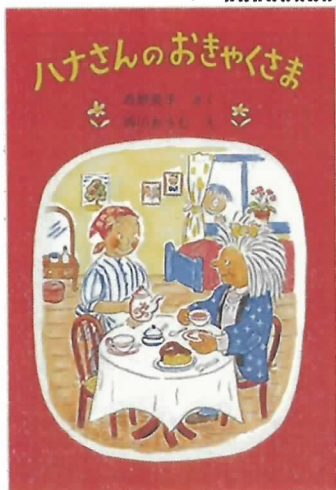
# 「<sup>つき</sup>月あかりのおはなし集」<sup>しゅう</sup>アリソン・アトリー作

こだまともこ訳  
いたやさとし絵

— ある日、ディック・トレローニーは ようせいを  
見つけたんですよ！ そんなこと信じられますか？ ところがこれは  
ほんとうのおはなしなんです。 どうやら、ディックが ようせいを  
見つけたのか おはなし しましょう —  
と 言われたら、聞きたいでしょう？ この本には、ふしぎな  
かげぼうしのおはなしや、小さな動物のドキドキする  
おはなしが 6つ はいっています。



小学館〔933ア〕



## 「ハナさんのおきやくさま」 角野 栄子 著 西川 おさむ 絵

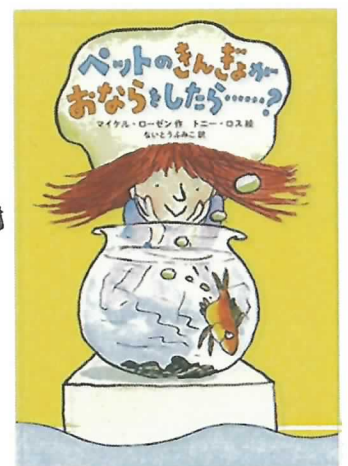
ハナさんは、町と森のさかいめにある 赤い屋根の  
小さな家に すんでいます。ハナさんの家に やってくるのは、  
かみの毛ぼ-ぼ-の山ばあさん とか ひつ目のおばけ  
の子とか... ちょっと かわった おきやくさま ばかり。ふしぎな  
こともおこります。でも、ハナさんは おいしいお茶とケーキで  
おもてなし。みなさんも、さあ どうぞ おはいいりくださいな。

福音館書店〔913カ〕

## 「ペットのきんぎょがおならをしたら……？」

マイケル・ローゼン作 トニー・ロス絵 ないとうふみこ訳

エルビーは 子犬が ほしくて ありません。でも ママが つれて  
きたのは きんぎょでした。「あたしが ほいのは 子犬だよ！」エルビーは  
ふんふん。しかたがないのでエルビーは きんぎょに 犬の芸を  
しこむことに したんです。ひょっとしたら きんぎょに 毛がはえて  
子犬になるかもしれませんからね。そこで エルビーは  
「ほえなさい、ほえ！」と いい続けました。すると！



徳間書店〔933ロ〕